

# 新しい生活様式に対応した「八王子ソロキャンプ」

"Hachioji Solo Camp" for The New Lifestyle

Team TSC

鎌田優佳<sup>1)</sup>, 川口智暉<sup>1)</sup>, 上原健太<sup>1)</sup>

指導教員 永見豊<sup>1)</sup>

1) 拓殖大学 工学部 デザイン学科 永見研究室

キーワード：八王子の自然、デイキャンプ、指定管理者

## 1. はじめに

2019年末からの新型コロナウイルス感染症の流行によって、私たちの生活様式は大きく変化した。国土交通省都市局がまとめた「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性」[1]によると、生活重視に意識が変化し、密閉・密集・密接の三つの密を回避するため、ゆとりあるオープンスペースのニーズが高まると指摘している。自然の中で三密を避けた余暇として、ソロキャンプが挙げられる。YouTubeでのソロキャンプ動画は人気があり、ヒロシちゃんねるでは、チャンネル登録者数は99万人、総再生回数は約9千9百万回もあり[2]、ソロキャンプの人気が高まっていることがわかる。

八王子市は高尾山を始めとする山々と多摩川に注ぐ16の1級河川のある自然豊かな都市である。本市にはキャンプ場が5箇所あり、現状をヒヤリングしたところ、ソロキャンプを行う場所が不足していることが分かった。一方、本市を流れる浅川の水は綺麗で広い河川敷があるが、未整備のため、有効に使われていない場所が残されている。そこで、私たちは、このオープンスペースをソロキャンプの場として活用することを提案する。整備や管理については、指定管理者制度の運用により、民間事業者のアイデアやサービスの提供を提案する。

## 2. 指定管理者制度の成功例

指定管理者制度とは、公の施設の管理について、民間事業者の活力やノウハウを活用することで、経費の縮減や利用者のニーズに対応した、きめ細やかな質の高いサービスの提供が期待できる仕組

みである[3]。評判の高い指定管理者の取り組みを調べたところ、その分野の専門の企業が管理者になることで、ノウハウを活かして、質の高いサービスが提供されていることが確認できた。一例を表1に示す。

表1 専門企業による指定管理者の例

施設名	鹿児島県薩摩川内市 唐浜臨海公園
管理者	全国警備保障 株式会社
サービス	設備の日常点検や保守管理 円滑な運営と施設内の秩序の維持 施設内及びトイレ、駐車場ごみ等のごみ収集、常に快適な環境を利用者に提供
成果	本業が警備会社であり、監視のノウハウがあり安全対策が徹底して行われている。 施設の効果を最大限に発揮し使用者のサービスの向上が図られている。

施設名	八王子市 夕やけ小やけふれあいの里
管理者	夕やけ小やけ共同事業体
サービス	作物含む施設、付帯設備、備品の維持管理運営 施設等の利用承認 自主事業の企画及び実施
成果	観光施設の改善・管理・運営や高尾 BBQ マウントなどの事業で培ったノウハウがありスキルを活かした施設運営がされている。経費の削減 来園者の方に安全で快適な施設サービスの提供

## 3. モデルケースによる検討

### (1)ソロキャンプ実現のポイント

ソロキャンプを実現するために必要なポイントを以下に示す。

#### ①魅力的な場所

河川敷は川魚を見るもしくは川のせせらぎや樹木の音を聞いて癒しとなる魅力的な場所である。

#### ②三密を避ける

一人用のテントを貸し出すことで、テント間の間隔を目安としてソーシャルディスタンスを保つ仕組みとする。

### ③利用しやすい料金設定

オープンスペースではあるが、維持管理のために有料制とする。ただし、利用しやすさと管理の両立を図った料金を設定する。

#### (2) 設定の場所

ソロキャンプ用の河川敷候補として、浅川の鶴巻橋の左岸を設定する（図1,2）。雑草が生い茂り立ち入ることができない空間となっている。一方、右岸は芝生広場として整備されており、近くには市役所の駐車場やトイレもあり、休日には多くの家族連れでぎわっている。以上から新たなオープンスペースとしては有効な場所であると考える。



図1 浅川鶴巻橋左岸（Google マップより作成）



図2 ソロキャンプのイメージ

#### (3) 道具・設備

手軽にソロキャンプを行うにあたり道具や設備のニーズを把握するため、大学生40名にアンケートを実施した。私たちが想定した道具や設備を必要な順に並べかえてもらった。その結果、上位はトイレ、火起こし、ウォーターサーバー、電源であった（図3）。社会人へのアンケートは実施していないが、新たな試みとして、テレワークを行えるように、机と椅子付きのテントやWi-Fiサービスも提

案する。

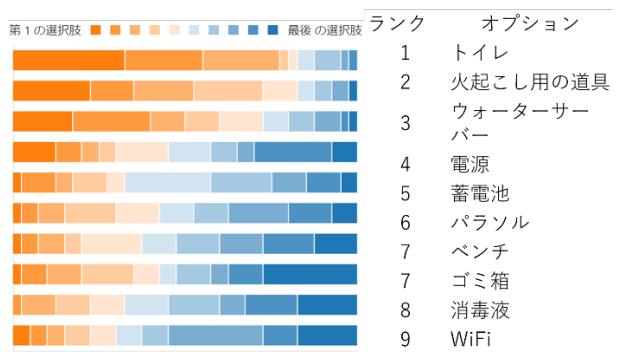


図3 ソロキャンプの道具・設備アンケート結果

#### (4) 指定管理者の候補

指定管理者は、専門のノウハウを活かせるようにキャンプ場の運営やキャンプ用品の販売店がふさわしいと考える。八王子市にあるキャンプ関連の企業を表2に示す。

表2 八王子市にあるキャンプ関連の会社

キャンプ場運営	合同会社ユーティリティ・アーミー
デイキャンプ施設の運営	合同会社クラ
キャンプ用品の販売	株式会社フロントビジョン

#### 4. おわりに

コロナ禍による新しい生活様式を強いられている中、私たちは前向きな発想が必要と考え、一人でも気軽に自然を楽しめるソロキャンプを提案した。今回モデルケースに選定した浅川河川敷以外にも八王子市にはまだ活用されていないオープンスペースがある。本提案では指定管理者によるアイデアに期待する部分が多くなっているが、私たちは今後も新しいアイデアで八王子市民が新しい生活を楽しめる仕組みづくりに貢献していきたい。

#### 参考文献

- [1]国土交通省都市局：新型コロナ危機を契機としたまちづくり，<https://www.mlit.go.jp/toshi/machi/covid-19.html>, 2020.8.
- [2] YouTube ヒロシちゃんねる：  
[https://www.youtube.com/channel/UC\\_ak3ZurSDtT3Kv1RFdrqIA](https://www.youtube.com/channel/UC_ak3ZurSDtT3Kv1RFdrqIA), 2020.10.
- [3]総務省：「指定管理者制度の運用について」の発出  
[https://www.soumu.go.jp/menu\\_news/seis/01gyosei04\\_01000004.html](https://www.soumu.go.jp/menu_news/seis/01gyosei04_01000004.html), 2010.12.